

高機構人発第89号
平成26年9月9日

各国立大学法人学長
各国立高等専門学校長 殿
各大学共同利用機関法人機構長

大学共同利用機関法人
高エネルギー加速器研究機構長
鈴木 厚 人
(公印省略)

平成26年度高エネルギー加速器研究機構技術職員
シンポジウムの開催について（通知）

昨今の科学技術における研究、技術開発はその多様性を増し複雑になる中、私たち教育研究機関には、知識や技術を幅広く国内外の研究に提供していくことが求められています。

また、社会的責任を果たし、国民の信頼を得て研究活動を遂行していくことも極めて重要であり、技術職員には、信頼される人材の育成を補佐する役目とともに、団塊世代の退職や採用抑制によって現場での一人ひとりの役割が一層大きくなっています。

このシンポジウムは、技術職員に関わる課題に対する各機関の取り組みの状況、成果、新たな課題などを中心に情報交換・意見交換を行い、各機関の参考に資することを目的に開催します。

ついては、貴機関における周知とともに、関係職員の参加についてご配慮くださるようお願いいたします。

なお、詳細は別紙にてご案内します。

平成26年9月9日

国立大学法人
国立高等専門学校 技術職員関係各位
大学共同利用機関法人

高エネルギー加速器研究機構
技術部門連絡会議
技術調整役 山野井 豊

平成26年度 高エネルギー加速器研究機構技術職員
シンポジウムの開催について

国立大学・国立高等専門学校・大学共同利用機関等の技術職員の技術の向上と交流を目的に、高エネルギー加速器研究機構（KEK）では第15回目となる KEK 技術職員シンポジウムを下記の要領で開催いたします。

平成13年の中央省庁再編に始まる、国立の大学、高等専門学校、研究機関の法人化が平成16年4月と決まり、さらにスリム化する為の規制緩和政策の下に技術業務と関わる人々全体のアウトソーシング化が推し進められてきました。そのような社会的な背景の下第1回シンポジウムは開催されました。

あれから10年が経ち、法人化後の定員削減による人手不足の上に、社会貢献活動など、新たに求められる業務量の増大により、技術職員には本来の技術業務以外にも多くの業務を担当することが求められています。また、大量退職の時期を迎えた昨今では、「どんな技術を」「どのように継承するか」は、喫緊の課題となっています。

今回のテーマは、「法人化10年と今後」としました。さらに三つのテーマに関するサブタイトルを設けましたので、以下を参照の上、活発な情報交換・意見交換が出来れば幸いです。

「法人化10年と今後」

- 組織について
- 業務内容の変化
- 評価と処遇

皆様、奮ってご参加いただけます様ご案内申し上げます。

日時 平成27年1月14日（水曜日）13時00分 ～ 15日（木曜日）15時00分
（受付は14日11時30分から）

場所 高エネルギー加速器研究機構（つくばキャンパス） 研究本館1階小林ホール

シンポジウム HP : <http://www-eng.kek.jp/tsukuba/sympo/>

参加費 : 500 円

懇親会費 : 3,500 円

参加申込手続きについて

(1) シンポジウムホームページから申込み下さい。

<http://www-eng.kek.jp/tsukuba/sympo/>

(2) 旅費は各機関での手当てを原則とさせていただきますが、KEK からの旅費をご希望の方は、別途ご相談ください。

(3) 発表申込締め切り : 平成 26 年 11 月 6 日 (木)

(4) お問い合わせは下記までお願いします。

eng-sympo2014@ml.post.kek.jp

技術職員シンポジウム実行委員会

実行委員長

田中賢一

以上